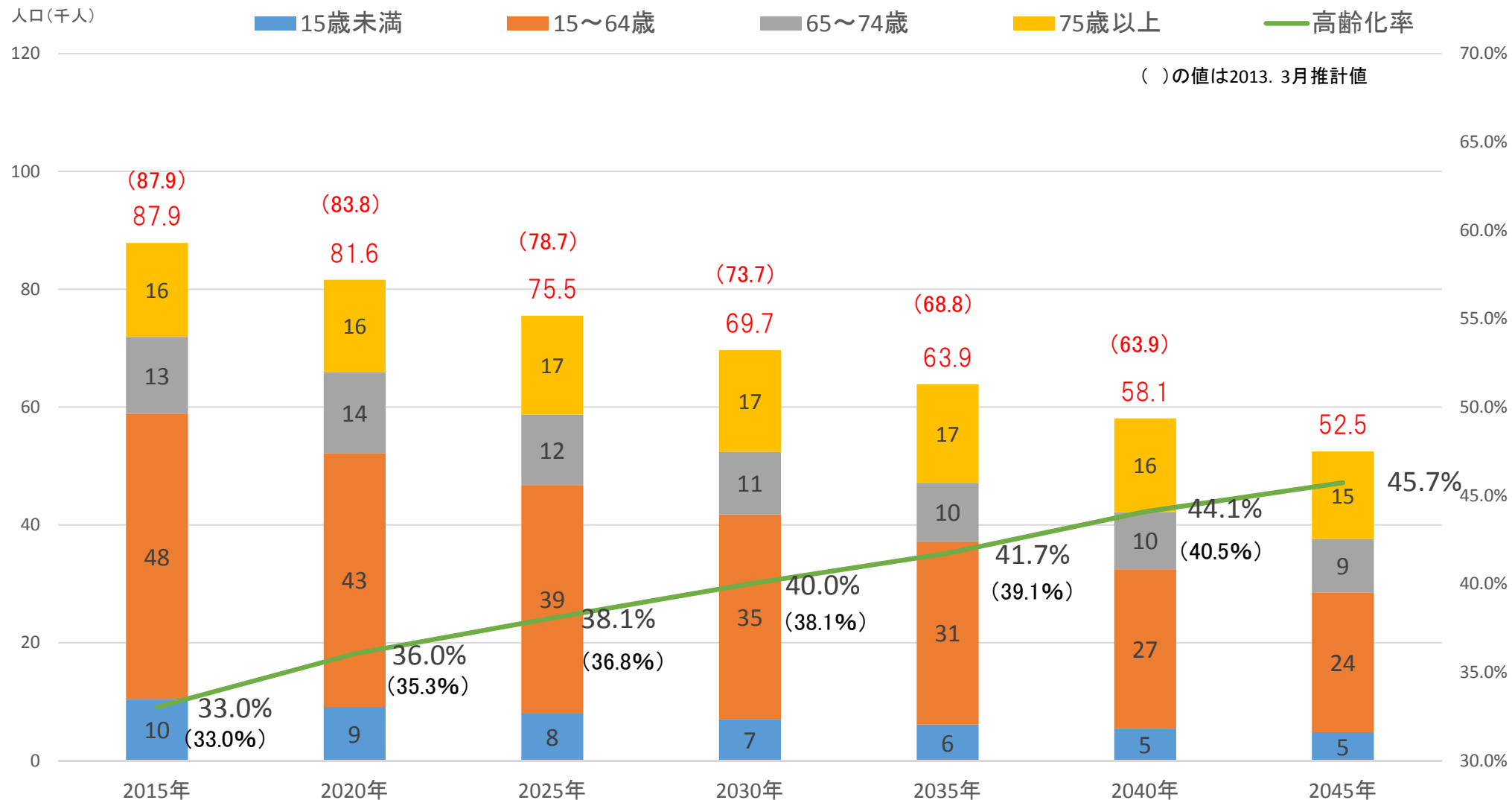


北信医療圏における受療動向について

北信構想区域の将来の人口・高齢化率の推移

○生産年齢人口の減少が2013年推計より大きく、人口減少が地域医療構想策定時に比べ大きくなっている。

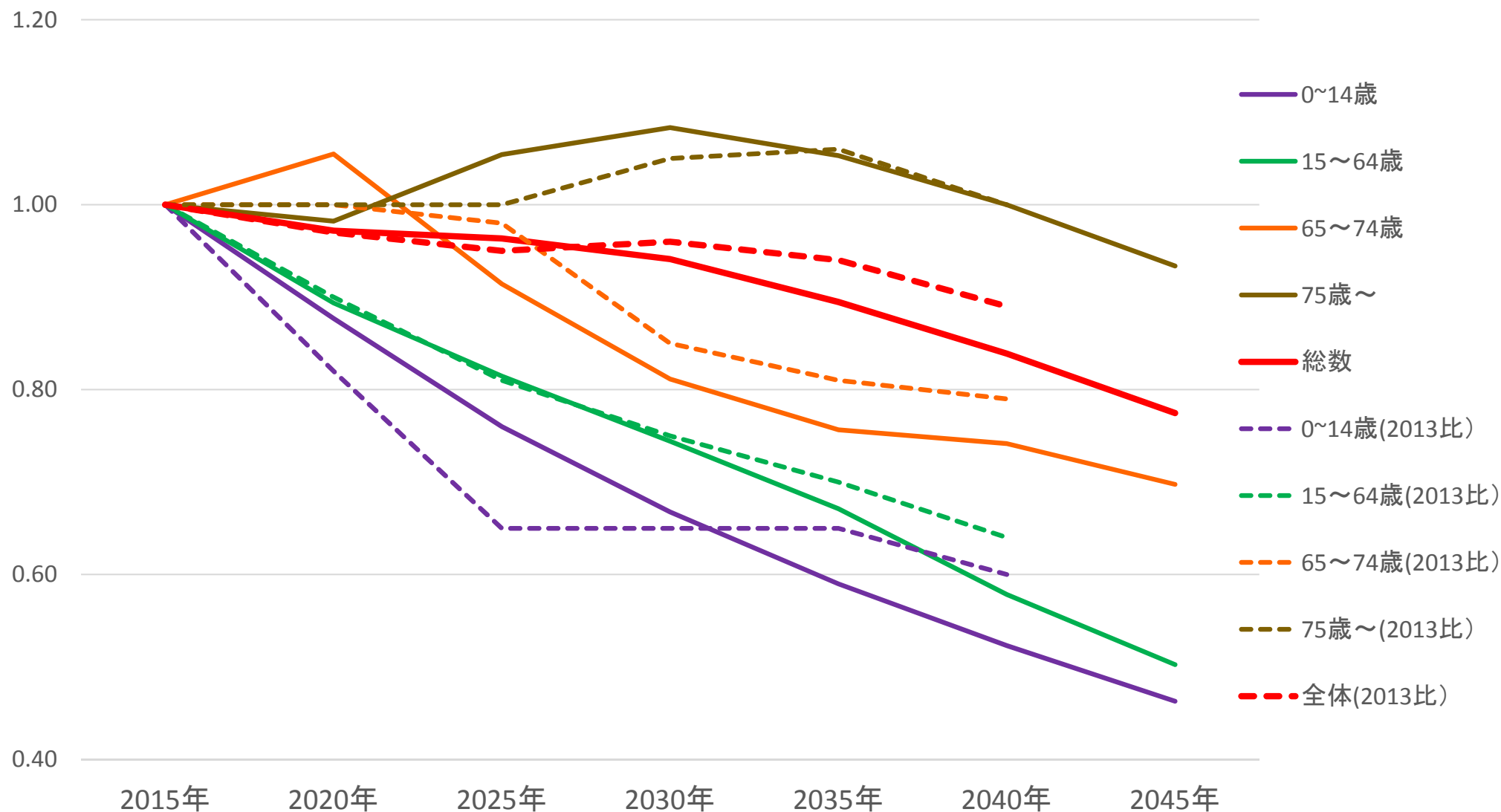


資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2018.3月推計）より作成
 （2015年国勢調査「人口等基本集計」に基づく）

区域内に住所を有する入院患者数の推移の見込み（2015（H27）年を1とした場合の変化率）

○75歳以上入院患者数ピークは2030年頃。

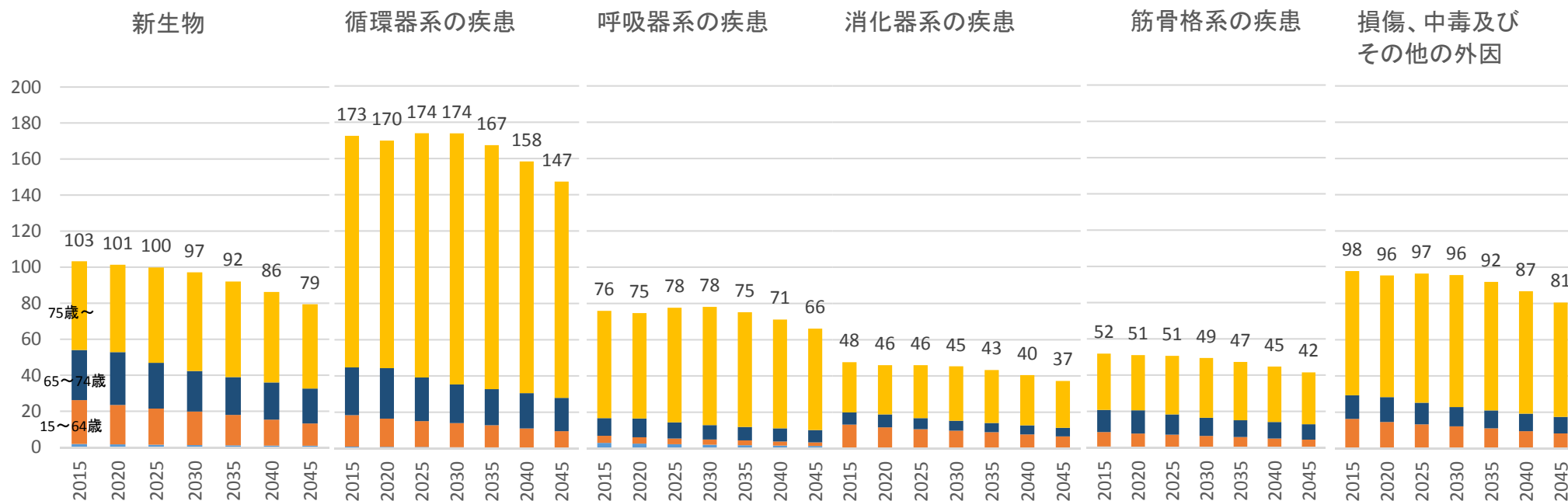
○2030年以降の患者数減少割合が地域医療構想策定時に比べやや大きくなる見込み



（資料：2016年「患者調査」・入院受療率（長野県）×社人研人口推計に基づく推計）

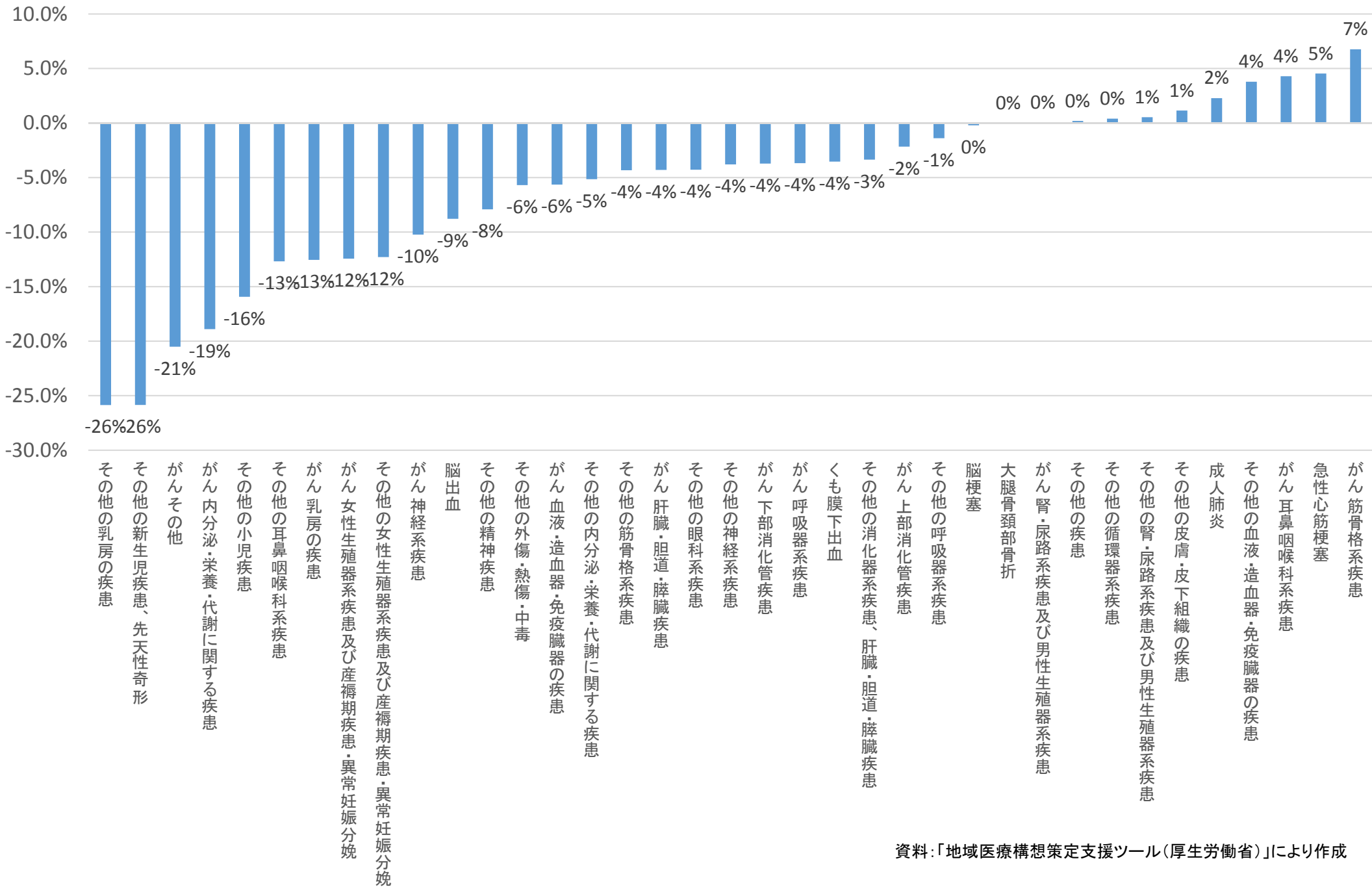
傷病別の北信医療圏入院患者数の推移の見込み（1日入院患者数）

- 循環器系疾患、呼吸器系疾患では、2030年まで入院患者数が軽度増加した後、減少に転じる見込み
- その他の疾患では、入院患者数はゆるやかな減少傾向が続く見込み



資料：2016年「患者調査」-入院受療率（長野）×社人研人口推計に基づく推計

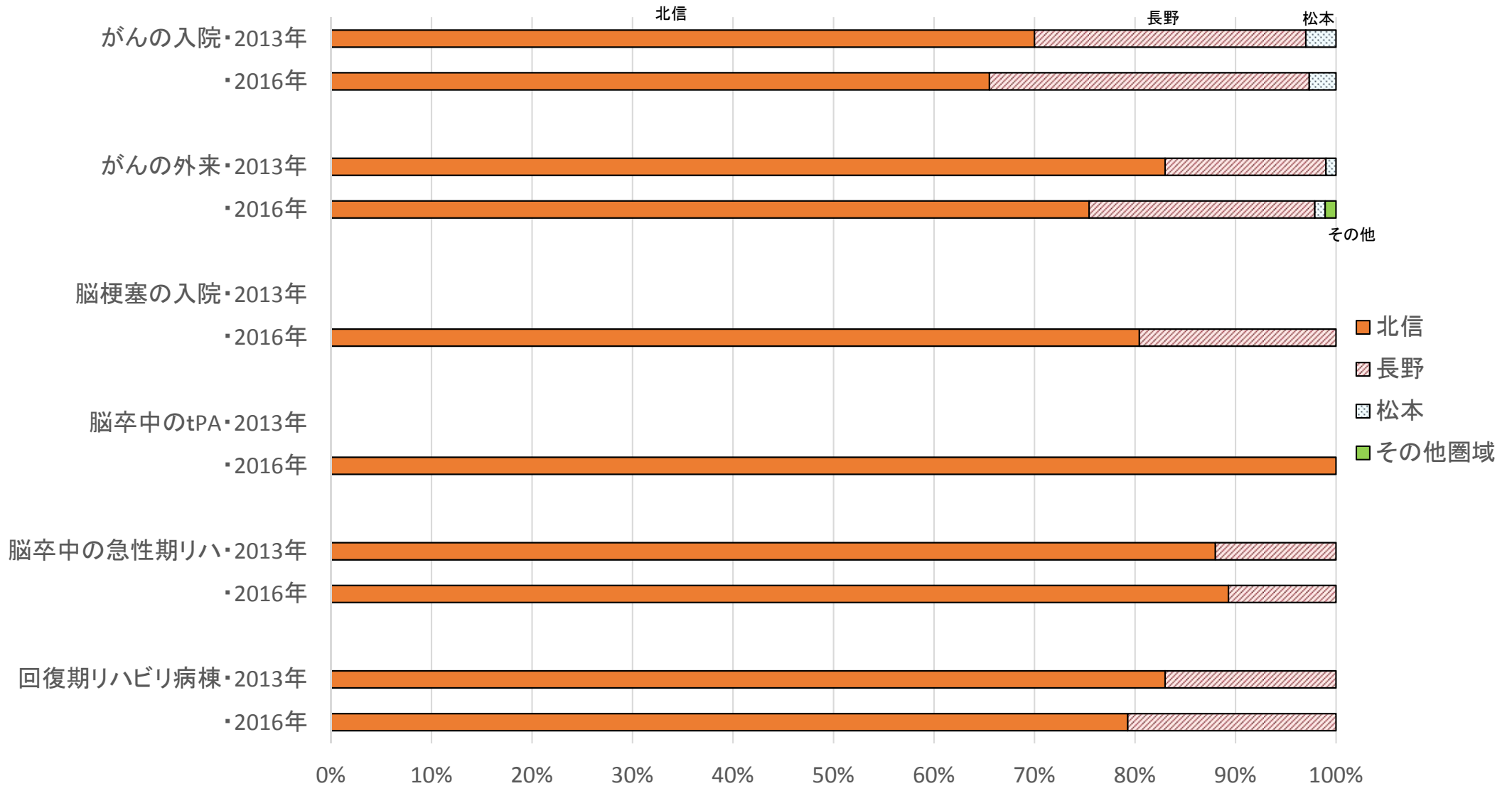
疾病構造の変化（北信地域居住者の入院患者数2013年→2025年を比較した増加率）



資料：「地域医療構想策定支援ツール(厚生労働省)」により作成

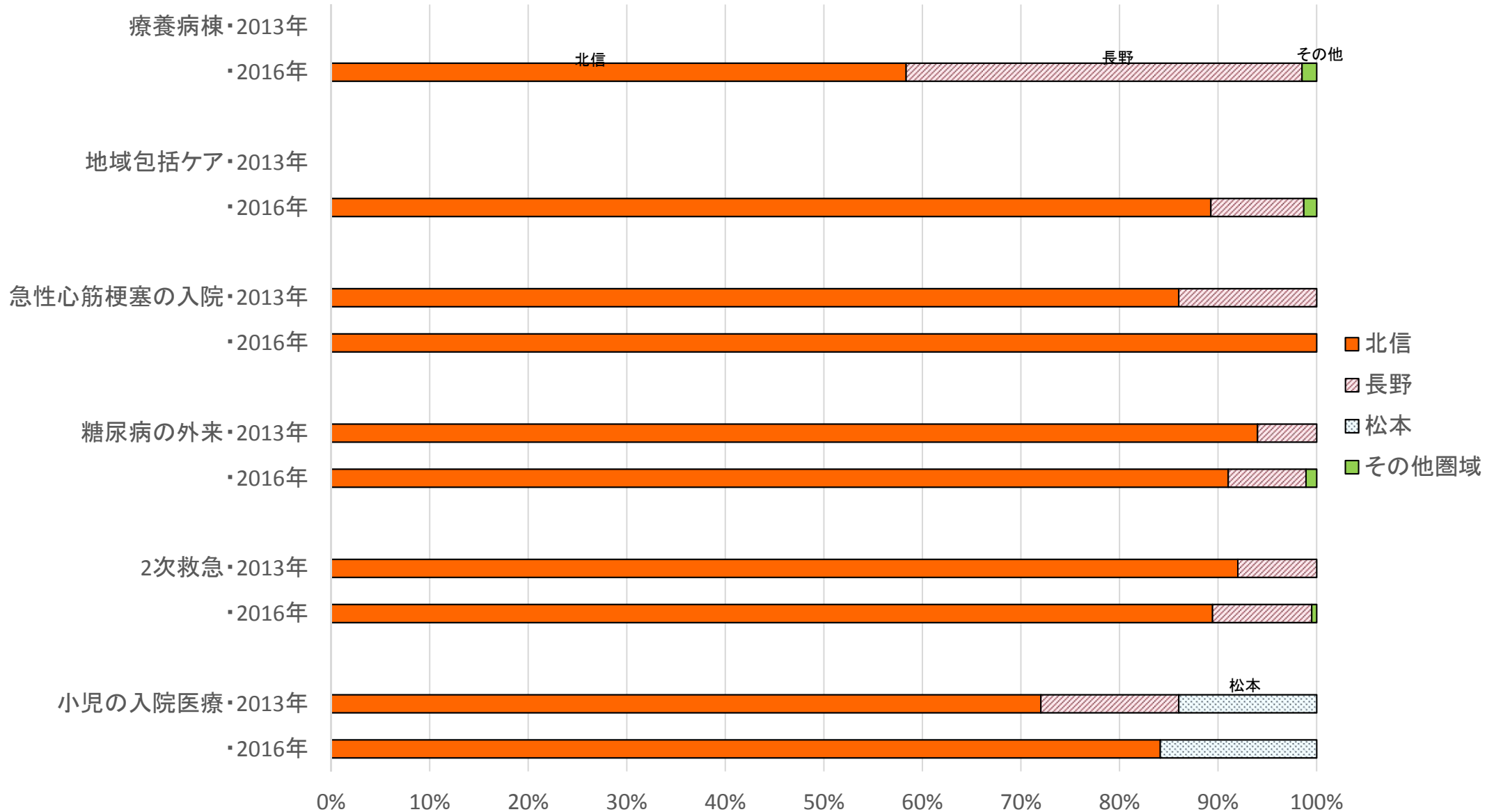
患者の流出入の状況（2016年度診療分、国保と後期高齢のレセプトによる分析）

○がんの入院・外来・脳卒中の急性期リハは長野への流出が増加。
 ○急性心筋梗塞では、他圏域への流出が減少している。



資料:「医療提供体制・受療動向分析ツール」(厚労省)により作成

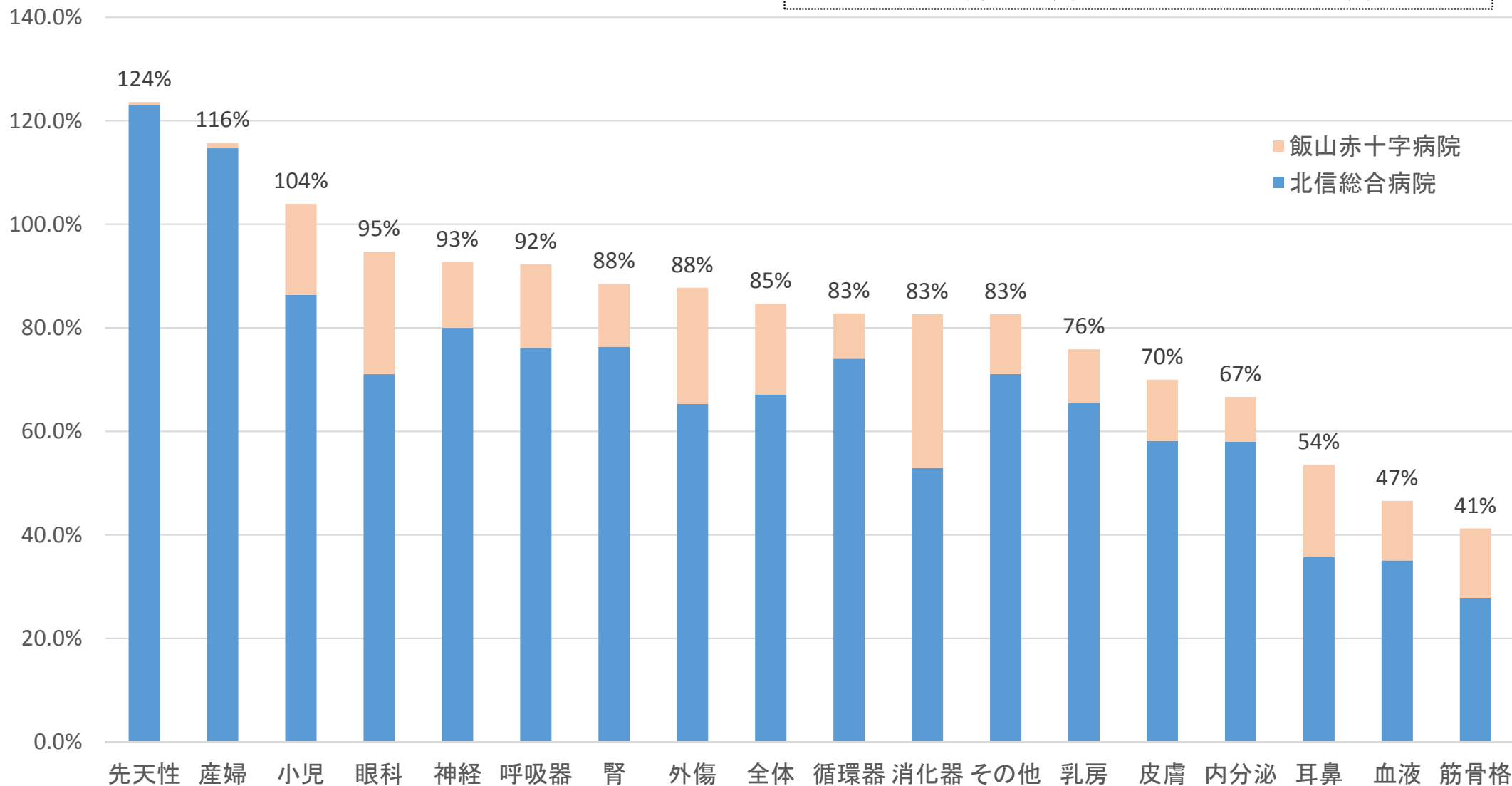
患者の流出入の状況（2016年度診療分、国保と後期高齢のレセプトによる分析）



DPC調査データに基づく区域内居住者の入院患者数に対する北信圏域医療機関入院患者数の割合

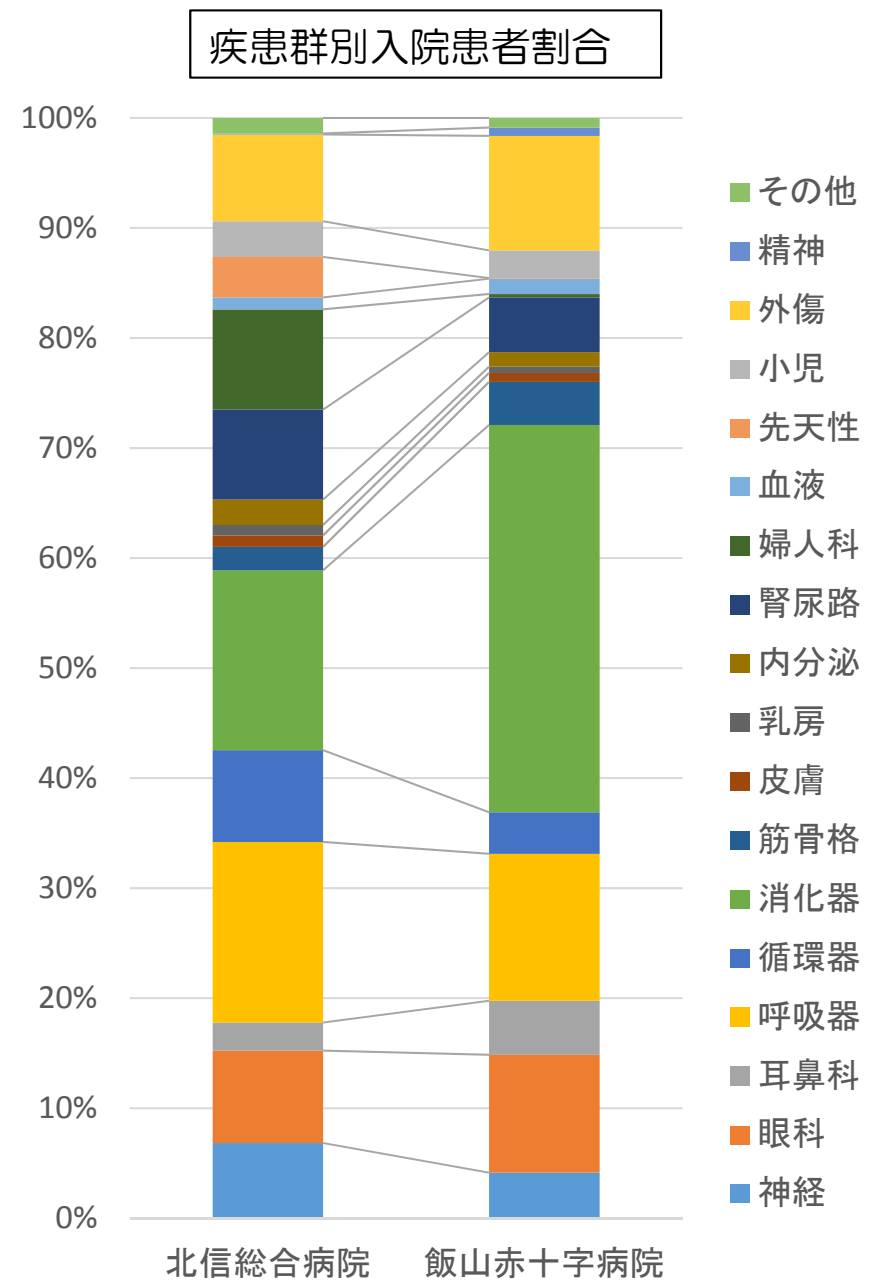
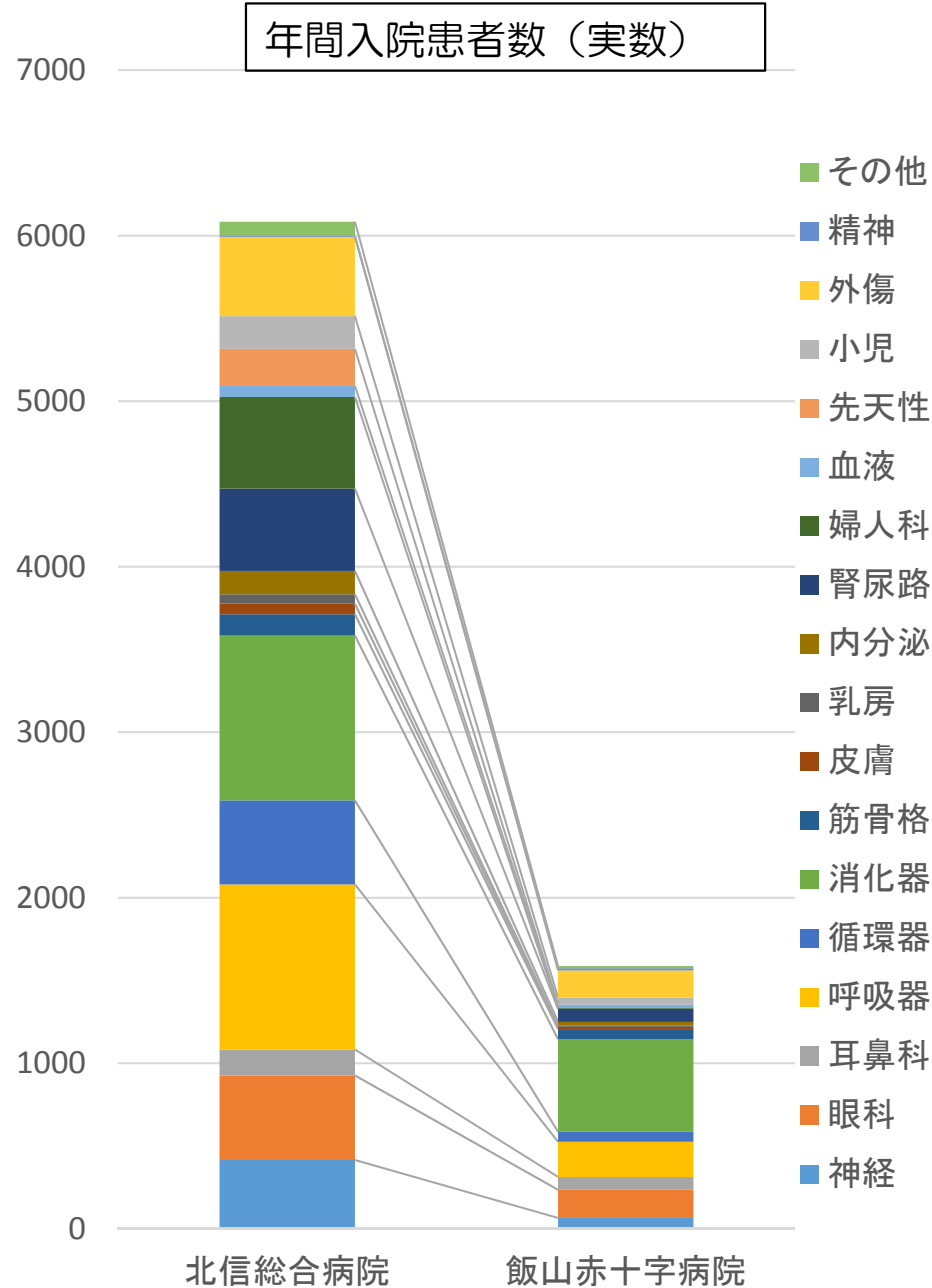
(疾患群別)

北信圏域医療機関入院患者数 / 区域内居住者入院患者数



(厚生労働省「DPC導入の影響評価に関する調査(H28年)」より作成)

DPC調査データに基づく地域入院医療提供状況



資料：厚生労働省「DPC導入の影響評価に関する調査」（H28年）